

[呼吸]

座長：内山 昭則(大阪大学医学部附属病院 集中治療部)

D2-1 急性呼吸不全をきたした慢性 GVHD の1例

○藤野 光洋、堤 貴彦、狩野 謙一、吉田 浩輔、藤井 雅士、濱中 訓生、田中 博之、
竹下 淳、別府 賢、笹橋 望、志馬 伸朗
京都医療センター

D2-2 頸髄腫瘍が原因で急性Ⅱ型呼吸不全を来した1症例

○猪飼 浩樹、熊澤 淳史、青柳 健一、小島 久和、小原 章敏
市立堺病院 救急集中治療部

D2-3 2型呼吸不全をきたし診断に苦慮した重症筋無力症クリーゼの1例

○是永 章¹⁾、辻本 登志英¹⁾、山田 裕樹¹⁾、山崎 一幸¹⁾、亀井 純¹⁾、置塩 裕子¹⁾、
千代 孝夫²⁾
1)日本赤十字社和歌山医療センター集 中治療部、2)同 救急部

D2-4 アスペルギルス菌塊塞栓による気管支チェックバルブを生じたと考えられる症例

○松浦 秀記、井上 聡己、野村 泰充、西和田 忠、安宅 一晃、川口 昌彦
奈良県立医科大学麻酔科学教室 集中治療部

D2-5 縦隔腫瘍による気道閉塞に対し、異なった治療法を選択した2症例

○喜多 加枝¹⁾、三住 拓誉²⁾、江木 盛時²⁾、溝渕 知司¹⁾
1)神戸大学医学部附属病院 麻酔科、2)同 集中治療部

D2-6 体外式膜型人工肺を用い、食道癌術後の呼吸不全患者を救命できた一症例

○今川 憲太郎
高槻赤十字病院 麻酔科

D2-7 急速な胸水ドレナージにより再膨張性肺水腫をきたした1例

○谷 大輔、松本 充弘、前田 英里、山本 泰史、二宮 万理恵、西田 朋代、
香河 清和、高田幸治
市立豊中病院 麻酔科

D4-1 麻酔導入時にたこつぼ型心筋症を発症し手術中止となったが、
再手術のために周術期管理を行った一症例

○山下 健次¹⁾、橋本 明佳³⁾、下川 亮¹⁾、平尾 収¹⁾、田中 成和¹⁾、川村 篤⁴⁾、
西村 信哉¹⁾、森 隆比古²⁾

1)大阪府立急性期・総合医療センター 麻酔科、2)同 医療情報部、3)大阪大学医学部付属病院 麻酔科、
4)大阪府立母子保健総合医療センター 麻酔科

D4-2 脊髄クモ膜下麻酔後にタコツボ型心筋症を伴う頭蓋内硬膜下血腫を来した一症例

○村田 裕、宮崎 嘉也、足立 健彦

田附興風会医学研究所北野病院 麻酔科・集中治療部

D4-3 肺炎を契機に status dystonicus を発症し、長期人工呼吸管理が必要であった一症例

○眞弓 あずさ、竹内 宗之、橘 一也、木水 友一、水口 壮一、重川 周、堀口 佑、
寺田 雄紀、山下 智範、文 一恵、津田 雅世、簗智 武志、清水 義之、木内 恵子

大阪府立母子保健総合医療センター

D4-4 自己免疫性溶血性貧血に肺塞栓症を合併し、急速な転帰を辿った一例

○山本 真義¹⁾、端野 琢哉²⁾、井手 岳²⁾、藤原 周一²⁾、野村 文彦²⁾、矢部 光一郎²⁾、
南 有紗³⁾、井尾 克宏⁴⁾、三好 隆史⁴⁾、永井 謙一⁴⁾

1)関西電力病院 神経内科、2)同 救急集中治療センター、3)同 消化器・肝胆膵内科、4)同 血液内科

D4-5 末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)に伴う上肢静脈血栓症から
肺動脈塞栓症を発症し、外科的に PICC を抜去した一例

○岡澤 佑樹、川上 大裕、池田 真悠実、植田 浩司、下藪 崇宏、美馬 裕之、
山崎 和夫

神戸市立医療センター中央市民病院

D4-6 高位頸髄損傷患者における、
High Tidal Volume Ventilation 管理を行った3例について

○酒谷 佳世、川副 友、柴田 尚明、米満 尚史、上田 健太郎、山添 真志、
木田 真紀、島 幸宏、岩崎 安博、加藤 正哉

和歌山県立医科大学 救急集中治療部

D4-7 自然気胸が原因と考えられる空気塞栓により脳梗塞を発症した一例

○大嶋 圭一、植田 浩司、下藪 崇広、美馬 裕之

神戸市立医療センター中央市民病院 麻酔科

EV1000がクリティカルケアの現場に新風をもたらす —チーム医療への応用—

檜垣 聡(医師)、川上 美絵子(看護師)
京都第二赤十字病院 救命救急センター

一般演題(医師)5 13:30～14:30

[感染症1]

座長：小林 敦子(宝塚市立病院 中央検査室・感染制御部)

D5-1 ARDS と DIC を合併した重症真菌性敗血症の一例

○奥 佳菜子¹⁾、楠 宗矩²⁾、岡本 明久¹⁾、山木 壮³⁾、梅垣 岳志²⁾、濱野 宣行¹⁾、
西 憲一郎¹⁾、廣田 喜一²⁾、新宮 興²⁾

1) 関西医科大学附属枚方病院 総合集中治療部、2) 関西医科大学 麻酔科学講座、3) 同 外科学講座

D5-2 劇症肝炎に対する脳死分割肝移植後に侵襲性アスペルギルス症に罹患した一例

○酒井 佳奈紀、滝本 浩平、内山 昭則、藤野 裕士

大阪大学医学部附属病院 集中治療部

D5-3 外傷後の肺動脈血栓への細菌感染が疑われた一例

○浅香 葉子¹⁾、瀬尾 龍太郎¹⁾、渥美 生弘²⁾、山崎 和夫¹⁾

1) 神戸市立医療センター中央市民病院 麻酔科、2) 同 救命救急センター

D5-4 発見が遅れた敗血症性ショック・小腸壊死に対し小腸切除術施行し救命するも、 治療断念となった統合失調症患者の一例

○赤澤 彰¹⁾、喜多 理香²⁾、橋本 賢吾²⁾、牛場 彩²⁾、藤井 恵美²⁾、岸本 卓磨²⁾、
松下 美季子²⁾、大内 政嗣²⁾、山根 哲信²⁾、浜本 徹²⁾、藤野 和典³⁾、辻田 靖之²⁾、
田畑 貴久³⁾、高橋 完²⁾、松村 一弘³⁾、江口 豊³⁾

1) 滋賀医科大学医学部附属病院 医師臨床教育センター、2) 同 救急・集中治療部、3) 同 救急集中治療医学講座

D5-5 早期集中治療によって重篤化を回避しえた産褥期敗血症性ショックの1例

○文 一恵¹⁾、橘 一也¹⁾、清水 義之¹⁾、簗智 武志¹⁾、津田 雅世¹⁾、木内 恵子²⁾、
竹内 宗之¹⁾

1) 大阪府立母子保健総合医療センター 集中治療科、2) 同 麻酔科

D5-6 迅速抗原検査が陰性であり PCR で診断を確定し得た重症 インフルエンザウイルス肺炎の2例

○宮本 恭兵、酒谷 佳世、安田 真人、柴田 尚明、川副 友、木田 真紀、島 幸宏、
岩崎 安博、加藤 正哉

和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座

[蘇生]

座長：塩川 泰啓(近畿大学 集中治療部)

D6-1 大量腹水患者が上部消化管内視鏡中に腹部コンパートメント症候群
(ACS：abdominal compartment syndrome)を発症し急変した1症例

○信正 千尋、加藤 之紀、小尾口 邦彦、福井 道彦、渡邊 宏樹、蒲池 正顕、和田 享、
宮崎 勇輔

大津市民病院 救急診療科・集中治療部

D6-2 極めて短時間の経過により死亡した小児出血性ショック脳症症候群を
強く疑った1例

○前田 英里、二宮 万理恵、谷 大輔、山本 泰史、松本 充弘、香河 清和、西田 朋代、
高田 幸治

市立豊中病院

D6-3 APRV および脳低温療法にて管理した病的肥満患者の蘇生後症例

○橋本 賢吾¹⁾、江口 豊¹⁾、松村 一弘¹⁾、辻田 靖之¹⁾、松下 美季子¹⁾、高橋 完¹⁾、
田畑 貴久¹⁾、藤野 和典¹⁾、浜本 徹¹⁾、大内 政嗣¹⁾、山根 哲信¹⁾、今宿 康彦²⁾、
岸本 卓磨¹⁾、藤井 恵美¹⁾、牛場 彩¹⁾、喜多 理香¹⁾

1)滋賀医科大学附属病院 救急集中治療部、2)同 麻酔科

D6-4 頸部血腫による気道偏位と上気道浮腫のためICUに
緊急入室後VV-ECMOも考慮しながら緊急挿管を行なった症例

○木下 真央¹⁾、徳平 夏子²⁾、澤田 麻衣子¹⁾、西尾 健志³⁾、新井 啓仁³⁾、伊藤 博士⁴⁾、
八木 克史⁵⁾、木村 彰夫²⁾⁵⁾、黄瀬 ひろみ²⁾、佐和 貞治¹⁾⁵⁾、橋本 悟²⁾

1)京都府立医科大学付属病院 麻酔科、2)同 集中治療部、3)同 耳鼻咽喉科、4)同 消化器外科、

5)同 医療機器管理部

D6-5 CPA 蘇生当日、緊急開腹手術を施行した十二指腸穿孔2例の周術期経験

○江藤 孝史、佐藤 創、小濱 華子、井出 岳、大橋 直紹、堀 直人、竹田 健太、
西 信一

兵庫医科大学 集中治療医学科

[術後合併症、小児]

座長：竹内 宗之(大阪府立母子保健総合医療センター 集中治療科)

D7-1 術後きわめて早期に発症した食道亜全摘術後再建結腸壊死の症例

○木村 詩織、瀬川 一、谷本 圭司、田中 具治、福田 和彦
京都大学医学部附属病院 麻酔科 集中治療部

D7-2 拡大胸腺摘除術術後に筋無力症性クレーゼを発症し、
治療に難渋した重症筋無力症の一症例

○堀田 有沙、中本 あい、吉川 範子、大平 直子、立川 茂樹
一般財団法人 住友病院 麻酔科

D7-3 術後に vasoplegic syndrome をきたした1症例

○中尾 権太、日下 裕介、出口 志保、大地 史広、下山 雄一郎、門野 紀子、
日外 知行、梅垣 修
大阪医科大学 集中治療部

D7-4 両 VAD 導入後5か月の集中治療を経て植え込み型 LVAD 単独下の心移植待機に
移行しえた小児劇症型心筋炎の1例

○前畠 慶人¹⁾、鳥越 史子¹⁾²⁾、内山 昭則¹⁾、高橋 邦彦²⁾、小垣 滋豊²⁾、上野 高義³⁾、
澤 芳樹³⁾、藤野 裕士¹⁾
1)大阪大学医学部附属病院 集中治療部、2)同 小児循環器内科、3)同 心臓血管外科

D7-5 経皮的心肺補助と持続的血液濾過透析を用いて救命し得た小児劇症型心筋炎の一例

○杉浦 順子、二川 晃一、出口 文華、山本 智久、岡本 慎司、奥田 隆彦
近畿大学医学部奈良病院 麻酔科

D7-6 肺動脈絞扼術を先行させた心室中隔欠損症に対する根治術時に cardiac ECMO を
使用した集学的治療によって救命しえた18トリソミー患児の1例

○文元 聰志¹⁾、島田 亮¹⁾、小澤 英樹¹⁾、根本 慎太郎²⁾、小田中 豊¹⁾、尾崎 智康¹⁾、
岸 勘太¹⁾、片山 博視³⁾、廣川 文鋭⁴⁾、宮崎 信一郎⁵⁾、出口 志保¹⁾、大地 史広¹⁾、
日下 祐介¹⁾、下山 雄一郎¹⁾、門野 紀子¹⁾、日外 知行¹⁾、梅垣 修⁶⁾
1)大阪医科大学 胸部外科、2)大阪医科大学附属病院 小児心臓血管外科、3)同 小児科、4)同 消化器外科、
5)同 麻酔科、6)同 集中治療室

[感染症2]

座長：安宅 一晃(奈良県立医科大学 麻酔科)

D8-1 肺炎球菌感染症により電撃性紫斑病を来した一例

○谷 泰弘¹⁾、辻本 登志英¹⁾、山田 裕樹¹⁾、山崎 一幸¹⁾、是永 章¹⁾、置塩 裕子¹⁾、
亀井 純¹⁾、千代 孝夫²⁾

1)日本赤十字社和歌山医療センター 集中治療部、2)同 救急部

D8-2 肺炎球菌感染症に伴う電撃性紫斑病の1救命

○村上 紗羅¹⁾、名倉 功二²⁾、熊澤 淳史¹⁾、青柳 健一¹⁾、小島 久和¹⁾、小原 章敏¹⁾

1)市立堺病院 集中治療科、2)同 総合内科

D8-3 肺炎球菌感染症に合併した電撃性紫斑病

○山条 純基、荒井 祐介、成宮 博理、平木 咲子、大岩 祐介、岡田 遥平、市川 哲也、
小田 和正、榊原 謙、石井 亘、檜垣 聡、飯塚 亮二、北村 誠

京都第二赤十字病院 救命救急センター

D8-4 左踵膿疱から Toxic Shock Syndrome (TSS) を呈した MRSA 感染の1例

○荒井 裕介、小田 和正、大岩 祐介、平木 咲子、岡田 遥平、榊原 謙、石井 亘、
成宮 博理、檜垣 聡、飯塚 亮二、北村 誠

京都第二赤十字病院 救命救急センター

**D8-5 ショックが遷延した Toxic Shock Syndrome に対し、PMMA-CHDF を含む
集学的治療により救命し得た症例**

○平山 尚史¹⁾、稲富 理²⁾、喜多 理香³⁾、橋本 賢吾³⁾、藤井 恵美³⁾、岸本 卓磨³⁾、
今宿 康彦⁴⁾、山根 哲信³⁾、浜本 徹³⁾、辻田 靖之³⁾、高橋 完³⁾、安藤 朗²⁾、
江口 豊³⁾

1)滋賀医科大学 医師臨床教育センター、2)同 消化器内科、3)同 救急・集中治療部、4)同 麻酔科